

条件付き一般競争入札（事後審査方式）の公告

公 告 日	令和4年6月8日	
工事番号	都建第33号	
工 種	土木	
工 事 名	市道下町清水線四ヶ村用水37号橋補修工事	
施工場所	小矢部市 清水 地内	
工事完成期限	令和4年 9月30日	
工事概要	施工延長 L=11.20m、W=6.00m ひびわれ注入工 L=10.00m、表面保護工 A=150.00m ² 、舗装工 A=63.00m ² 断面修復工(主構造) V=0.20m ³ 、断面修復工(親柱、高欄) V=0.25m ³ 足場工(板張防護工) A=70.00m ²	
予定価格	6,880,000 円(消費税及び地方消費税相当額を除く)	
低入札調査基準価格	設定有り 当該基準価格を下回る入札が行われた場合は、落札者の決定を保留し、後日、入札参加者に結果を通知する。	
入札参加資格	本店、支店又は営業者の所在地	・小矢部市内に主たる営業所を有する者 ・準市内業者に認定された者
	等級又は総合評価値	・令和3・4年度小矢部市建設工事入札参加資格者名簿の土木工事において、B等級、C等級又はD等級に登録されている者
	その他	・小矢部市条件付き一般競争入札実施要領第3条
入札方法	期間入札	
入札書の提出方法	持参又は郵送	
入札書の提出期間	令和4年6月13日 から 令和4年6月20日 まで 持参の場合の受付時間は市役所開庁日の8時30分～17時15分 郵送の場合は、期日内に指定郵便局必着	
入札書の提出先	総務部財政課	
開札日時	令和4年6月22日 9時36分	
開札場所	小矢部市役所 講堂（4階）	
入札保証金	免除	
契約保証金	納付必要（請負代金額が500万円以上の場合）	
積算内訳書	要（入札時に、入札書と同封して提出）	
入札の無効	小矢部市期間入札実施要領第7条による	
設計図書の配布	小矢部市ホームページ「事業者向け」―「入札案内・資格申請」に掲載する設計図書を、ダウンロードにより取得する。	
設計図書に対する質問期間	令和4年6月15日	
質問に対する回答期限	令和4年6月17日	

令和4年度

都建第33号

市道下町清水線四ヶ村用水37号橋補修工事

工事実施設計書

小矢部市

令和4年度				小矢部市役所					
設計書 小矢部市 清水 地内 市道下町清水線四ヶ村用水37号橋補修工事 設計額 ￥ . 一									
第33号	工事大要	施工延長	L	=	11.20 m				
		総幅員	W	=	6.00 m				
		ひびわれ注入工	L	=	10.0 m	断面修復工(主構造)	V	=	0.20 m ³
		表面保護工	A	=	150 m ²	断面修復工(親柱、高欄)	V	=	0.25 m ³
		舗装工	A	=	63 m ²	足場工(板張防護工)	A	=	70 m ²

特記仕様書

工事名：市道下町清水線四ヶ村用水 37 号橋補修工事

第1条 一般

この特記仕様書は、「土木工事共通仕様書（富山県土木部）令和 3 年 10 月」によるものとし、第 1 編共通編 1-1-2 第 6 項に基づき、本工事に必要な事項について定めるものとする。

本工事の施工にあたっては、共通仕様書及び特記仕様書の他、これに付随する関係基準書等に基づいて適正に施工すること。

第2条 現場代理人の工事現場における常駐を要しない機関

- 1 次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認めた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱うものとする。
 - ① 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
 - ② 工事の全部の施工を一時中止している期間
 - ③ 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって工場製作のみが行われる期間
- 2 前項の期間を確認する必要がある場合は、書面によることとする。

第3条 工事材料の確認

材料については、監督員の段階確認を受けて使用するものとする。

第4条 建設リサイクル法の対象工事

- 1 本工事は、「建設工事に係る資源の再資源化に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）の対象工事であり、特定建設資材について分別解体等及び再資源化等を実施するものとする。
- 2 請負者は建設リサイクル法第 12 条に基づき、施工計画書に以下の内容を明記し、監督員に説明するものとする。
 - ・解体工事である場合は、解体する建築物等の構造
 - ・建築工事等である場合は、使用する特定建設資材の種類
 - ・工事着手の時期及び工程の概要
 - ・分別解体等の計画
 - ・解体工事である場合は、解体する建築物等における建築資材量の見込み

- 3 本工事における特定建設資材（コンクリート、鉄及びコンクリートからなる建設資材、アスファルト・コンクリート）の分別解体等・再資源化については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件によりがたい場合は監督員と協議するものとする

(1) 分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)
	仮設	仮設工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	土工	土工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	基礎	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	本体構造	本体構造の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	本体付属品	本体付属品の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	その他 (既設構造物撤去)	その他の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用

(2) 再資源化等をする特定建設資材廃棄物の種類及び再資源化施設の場所

特定建設資材廃棄物の種類	処理量
コンクリート塊	—
アスファルト塊	4.2m ³
建設発生木材	—

※上記(2)については積算上の明示条件であり、再資源化施設を特定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても、設計変更の対象としない。ただし、施設の受け入れが困難な場合等、請負者の責によるものでない事項については、この限りではない。

4 請負者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法 18 条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督員に報告する。なお、書面は、「建設リサイクルガイドライン（富山県土木部）平成 14 年 6 月」に定めた様式 1「再生資源利用計画書（実施書）」及び様式 2「再生資源利用促進計画書（実施書）」に兼ねるものとする。

- ・再資源化が完了した年月日
- ・再資源化を行った施設の名称及び所在地
- ・再資源化に要した費用

5 請負者は、再資源化施設において適正に処分されていることが確認できる書類（マニフェスト）を監督員に提示するとともに、運搬・処理を委託する場合は、産業廃棄物処理業者との委託契約書に提示するものとする。

第5条 舗装切断作業時に発生する排水の処理

舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された排水については、適正に処理するものとし、必要な経費については、監督員の協議の上、設計変更の対象とする。

ここで、「適正に処理」する際には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正な処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を処理業者に提供することが必要である。

なお、受注者は、排水の処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員から請求があった場合は、提示しなければならない。

第6条 安全管理

工事期間中は、安全管理要員等を配置し、工事区域内全般の巡視、点検、連絡調整等を行い安全確保に努めなければならない。

第7条 過積載防止対策

道路交通法及び道路法を遵守するとともに、過積載防止対策に努める。

第8条 地場産品の優先使用

本工事に使用する資材等は、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合には、県内地産品を優先使用するものとする。

第9条 下請関係の適正化

本工事を下請に付す場合は、「施工体制の適正化及び一括下請負の禁止の徹底等について」を遵守すること。

第10条 社内検査の実施

請負者は、工事の途中段階及び完成時において、発注者の検査前に社内検査を実施するものとし、時期・内容等について施工計画書に記載すること。また、実施結果について監督員に提示するものとする。

第11条 公害防止

建設機械の搬入・搬出及び現場作業による土砂の流出等により周辺に影響を及ぼした場合は、直ちに現状に回復すること。また、本工事により周辺に影響が出ないよう配慮すること。

第12条 起工測量

本工事实施にあたり、起工測量を行い損傷個所や範囲を確認すること。
設計図書の精査し、施工計画書に反映させること。

第13条 その他

本工事数量については概数であることから、着工前に各工種の数量を担当者と協議すること。

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数	0001 建設課 実施設計書 当初 0		
適用単価 適用単価地区 単価適用年月日	1 実施単価 07 砺波地区 0-04. 05. 15 (0)		
諸経費体系	1 公共		
	当 世 代	前 世 代	
前払率 諸経費工種 労務費補正 電力区分 施工地域区分 寒冷地区分 緊急工事区分 契約保証区分 現場環境改善費 週休2日工事補正 消費税率 (%)	40 29 橋梁保全工事 01 割増なし 02 臨時低圧電力 12 補正無し 01 補正なし 00 通常 01 金銭的保証 00 計上しない 00 計上しない 10		

小 矢 部

本工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費										X1000	
	道路修繕・橋梁保全工事									Y1802	
	舗装工									Y280204	
	舗装打替工									Y38020402	
	舗装版破碎（橋面部）									Y4802040202	
	舗装版切断 アスファルト舗装版				式					SP4028 0 A=1, B=1, E=1	
	舗装版破碎積込（小規模土工）	11.0		m						施工 第0-0001号表	
		63		m2						SP2013 0 施工 第0-0002号表	
	殻運搬									Y4802040203	
	殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込				式					SP2081 0 A=2, B=1, C=1, F=4	
		4.2		m3						施工 第0-0003号表	

本工事費内訳表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
敷処分						Y4802040211
			式			
処分費等						#0044
アスファルト廃材処理費						TAK96 0
	4.2		m3			
舗装打替工（橋面部）						Y4802040207
			式			
小規模アスファルト舗装（材料費） 表層工 車道及び路肩						S4038 0 A=2, B=1, C=5, D=7, E=1
	63		m2			施工 第0-0004号表
小規模アスファルト舗装（施工費） 施工面積 50m2≦A<100m2						TA004 0
	1		箇所			
橋梁補修工						Y2A0101
ひび割れ補修工						Y3A010101
ひび割れ補修工（低圧注入工法） 補修延べ延長 25m未満						S5510 0 A=1, C=0.40, D=1.10, E=40
	1		構造物			施工 第0-0005号表

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
断面修復工						Y3A010101
断面修復工（左官工法） 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理 有り 修復延べ体積 0.1m3以上 主構造	1		構造物			S5511 0 A=1, B=2, C=0.2 施工 第0-0006号表
断面修復工（左官工法） 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理 有り 修復延べ体積 0.1m3以上 親柱、高欄	1		構造物			S5511 0 A=1, B=2, C=0.25 施工 第0-0007号表
仮設工						Y280209
表面保護工						Y38022806
表面含浸工						Y4802280602
表面含浸工 土木工事標準単価方式	150		m2			SS231 0 A=2, B=1, C=1, D=1, E=1, F=0.21 施工 第0-0008号表
足場工						Y3A010101
足場工（中段足場） シート張防護工	70		m ²			V0001 0 施工 第0-0009号表

小 矢 部

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
交通管理工									Y38020925	
交通誘導警備員									Y4802092501	
交通誘導警備員				式					S71920	
									A=0, B=2, C=5	
直接工事費		1		式					施工 第0-0010号表	
共通仮設費 (率分)										
共通仮設費計				式						
純工事費										
現場管理費										
現場管理費計				式						

本工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
工事原価											
一般管理費等											
工事価格					式						
消費税等相当額					式						
請負対象工事費											
工事価格計											
消費税等相当額計					式						
請負対象工事費計											

施 工 内 訳 表

SP4028

施工 第0-0001号表

頁0-0007

[名 称] 舗装版切断			1 m 当り		
[規格 1] アスファルト舗装版			[規格 2]		
機械構成比： 6.24%			労務構成比： 54.57%		
材料構成比： 39.19%			市場単価構成比： 0.00%		
			標準単価： 562.41		
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	
コンクリートカッタ		4.22%		コンクリートカッタ	
その他(機械)				その他(機械)	
特殊作業員		19.07%		特殊作業員 東京単価	
土木一般世話役 一般施工		9.53%		土木一般世話役 東京単価	
普通作業員		8.29%		普通作業員 東京単価	
その他(労務)				その他(労務)	
ダイヤモンドブレード 径56cm		36.35%		コンクリートカッタ (ブレード) 東京単価 径22インチ	
ガソリン JIS2号レギュラ		1.92%		ガソリン 東京単価 レギュラー スタンド	
その他(材料)				その他(材料)	
積算単価				積算単価	
A=1 E=1		アスファルト舗装版 全ての費用		B=1 15cm以下	

小 矢 部

SP2013

施 工 内 訳 表

施工 第0-0002号表

頁0-0008

[名 称] 舗装版破碎積込（小規模土工）			1 m2 当り		
[規格 1]			[規格 2]		
機械構成比： 23.01% 労務構成比： 69.05% 材料構成比： 7.94%			市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1,524.6		
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
小型バックホウ	23.01%		小型バックホウ		MHH196
特殊運転手	69.05%		運転手（特殊） 東京単価		R2002
軽油 (パトロール)	7.94%		軽油 東京単価 1. 2号 パトロール給油		T3002
積算単価			積算単価		EP001

小 矢 部

施 工 内 訳 表

[名 称] 殻運搬			1 m3 当り		
[規格1] コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし			[規格2] 機械積込		
機械構成比： 43.38%			標準単価： 1,727.4		
労務構成比： 41.88%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 14.74%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック	43.38%		ダンプトラック		M1450
一般運転手	41.88%		運転手(一般) 東京単価		R2015
軽油 (パトロール)	14.74%		軽油 東京単価 1. 2号 パトロール給油		T3002
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=1	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし DID区間 無し		B=1 F=4	機械積込 8.0km以下	

施 工 内 訳 表

[名 称] 小規模アスファルト舗装 (材料費)						1	m2	当り
[規格1] 表層工						[規格2] 車道及び路肩		
名 称 ・ 規 格 な ど		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
アスファルト合材 再生材入り 密粒度 AC 20FA		0.13		t			T3926	
アスファルト乳剤 PK-4				L			T3035	
単位当り		1		m2				
A=2 C=5 E=1	表層工 舗装厚 (cm) タックコート				B=1 D=7	車道及び路肩 密粒度 AC 20FA		

S5510

施 工 内 訳 表

施工 第0-0005号表

頁0-0011

[名 称] ひび割れ補修工（低圧注入工法）					
[規格1] 補修延べ延長 25m未満			[規格2]		
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008
特殊作業員		人			R2005
普通作業員		人			R2006
注入材	0.40	kg			TD528
シール材	1.51	kg			TD527
低圧注入器具	40.00	個			TD720
諸雑費		%			#09
＊ ＊単位当り＊ ＊	1	構造物			
A=1 D=1.1	25m未満 1構造物当りのシール材設計量 (kg)		C=0.4 E=40	1構造物 1構造物	当りの注入材使用量 (kg) 当りの低圧注入器具使用量 (個)

小 矢 部

S5511

施 工 内 訳 表

施工 第0-0006号表

頁0-0012

[名 称] 断面修復工 (左官工法)					
[規格1] 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理 有り			[規格2] 修復延べ体積 0.1m3以上		
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008
特殊作業員		人			R2005
普通作業員		人			R2006
断面修復材	0.24	m3			TD710
諸雑費		%			#09
＊ ＊単位当り ＊ ＊	1	構造物			
A=1 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理 有り C=0.2 1構造物当り修復延べ体積 (m3)			B=2 0.1m3以上		

小 矢 部

施 工 内 訳 表

[名 称] 断面修復工 (左官工法)						1	構造物	当り
[規格1] 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理 有り			[規格2] 修復延べ体積 0.1m3以上					
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金 額	備	考
土木一般世話役 一般施工			人				R2008	
特殊作業員			人				R2005	
普通作業員			人				R2006	
断面修復材		0.30	m3				TD710	
諸雑費			%				#09	
＊ ＊単位当り ＊ ＊		1	構造物					
A=1 C=0.25	鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理 有り 1構造物当り修復延べ体積 (m3)			B=2	0.1m3以上			

施 工 内 訳 表

[名 称] 表面含浸工						1	m2	当り
[規格1] 土木工事標準単価方式			[規格2]					
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金 額	備	考
表面含浸工（下地処理工） 高所作業車無 時間制約無 昼間	1. 00		m2				TL803	
表面含浸工（含浸材塗布工） 高所作業車無 時間制約無 昼間	1. 00		m2				TL812	
表面含浸材料	0. 21		kg				TD704	
＊ ＊ 単位当り ＊ ＊	1		m2					
A=2 下地処理 C=1 時間的制約無し E=1 kg				B=1 高所作業車 無 D=1 標準（昼間） F=0. 21 m2あたり標準使用量（ロス率含む）				

V0001

施 工 内 訳 表

施工 第0-0009号表

頁0-0015

[名 称] 足場工 (中段足場)					
[規格1] シート張防護工					
[規格2]					
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋梁特殊工		人			R2019
足場損料		月			W0001
単位当り	1	m ²			

小 矢 部

施工内訳表

頁0-0016

小 矢 部

機 労 材 集 計 表

頁0-0017

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	R2005	11			特殊作業員	特殊作業員
2	R2006	12			普通作業員	普通作業員
3	R2008	25			土木一般世話役	一般土木世話役
4	R2019	23			橋梁特殊工	橋梁工世話役
5	R2053	37			交通誘導警備員B	その他労務
6	T3035	78			アスファルト乳剤	アス乳剤
7	T3926	72		8.19	アスファルト合材 再生材入り	密粒13～20 F
8	TA004	200		1	小規模アスファルト舗装（施工費）	
9	TAK96	189		4.2	アスファルト廃材処理費	投棄料
10	TD527	198		1.51	シーラ材	消耗品費
11	TD528	198		0.4	注入材	消耗品費
12	TD704	600		31.5	表面含浸材料	橋梁・河川・港湾用材
13	TD710	755		0.54	断面修復材	左官材
14	TD720	830		40	低圧注入器具	工具類・測定機器
15	TL803	200		150	表面含浸工（下地処理工）	
16	TL812	200		150	表面含浸工（含浸材塗布工）	
17	WXXXX	966				

小 矢 部

ひびわれ注入工(低圧注入工)（上部工）

費 目	工 種	細 別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
直接工事費								
	低圧注入工	1橋あたり	有機系					
	注入圧力0.4MPa以下							
		一般世話役		人	1.5			
		特殊作業員		人	2.4			
		普通作業員		人	1.8			
		材料費	注入材 アイカ工業 ジョリシールJBX-97	kg	0.40			
			シール材 アイカ工業 ジョリシールJB-8	kg	1.51			
			注入器具	個	40			
		諸雑費		式	1.0			
		1橋あたり施工日数D(日/橋)						
		D=0.060×L+0.71	10.000	m/橋				
		(L:1橋あたりの延べ施工量(m/橋))						
	合計					1橋あたり		
	低圧注入工			橋	1			

断面修復工（主構造）

費 目	工 種	細 別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
直接工事費								
	断面修復工	1橋あたり	左官					
	鉄筋ケレン防錆処理含む							
		一般世話役		人	4.6			
		特殊作業員		人	7.6			
		普通作業員		人	5.0			
		断面修復材	ロス率含む	m3	0.240			エレホンフィックスTS
		諸雑費		式	1.0			
		1橋あたり施工日数D(日/橋)ケレン・防錆処理含む						
		D=18.92×V+1.48						
		(V:1橋あたりの延べ施工量(m3/橋))	0.200	m3/橋				
	合計					1橋あたり		
	断面修復工			橋	1			

断面修復工(親柱、高欄)

費 目	工 種	細 別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
直接工事費								
	断面修復工	1橋あたり	左官					
	鉄筋ケレン防錆処理含む							
		一般世話役		人	5.8			
		特殊作業員		人	9.5			
		普通作業員		人	6.3			
		断面修復材	ロス率含む	m3	0.300			エレホンフィックスTS
		諸雑費		式	1.0			
		1橋あたり施工日数D(日/橋)ケレン・防錆処理含む						
		D=18.92×V+1.48	0.2500	m3/橋				
		(V:1橋あたりの延べ施工量(m3/橋))						
	合計					1橋あたり		
	断面修復工			橋	1			

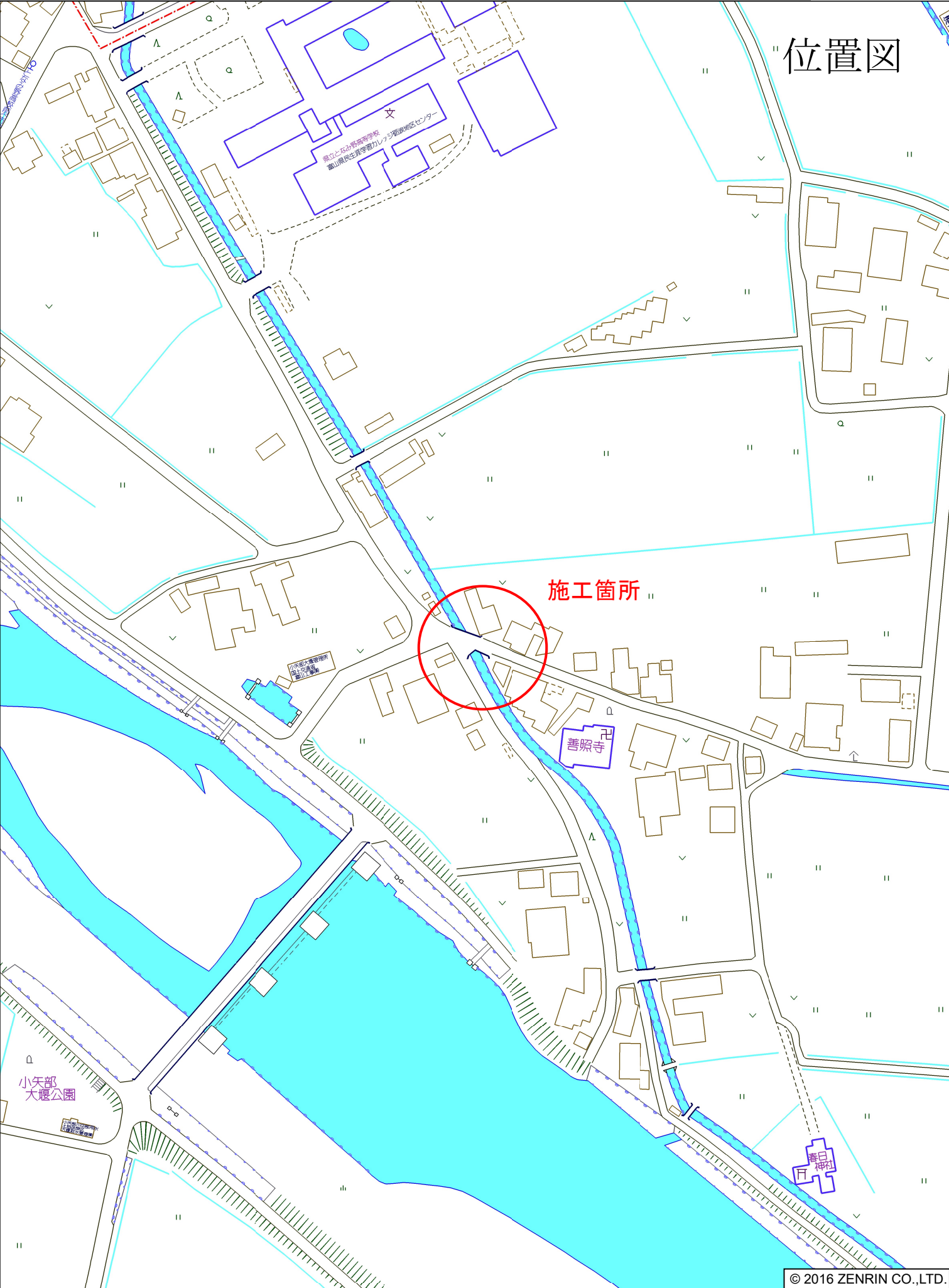
表面含浸工（シラン系）

費 目	工 種	細 別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
直接工事費								
	表面含浸工	1m2あたり	シラン系					
		下地処理		m ²	1.0			
		含浸材塗布		m ²	1.0			
		含浸材	マジカルリペラー	m ²	0.22			
	合計					1m2あたり		
	表面含浸工			m2	1.0			

足場工（板張防護工）

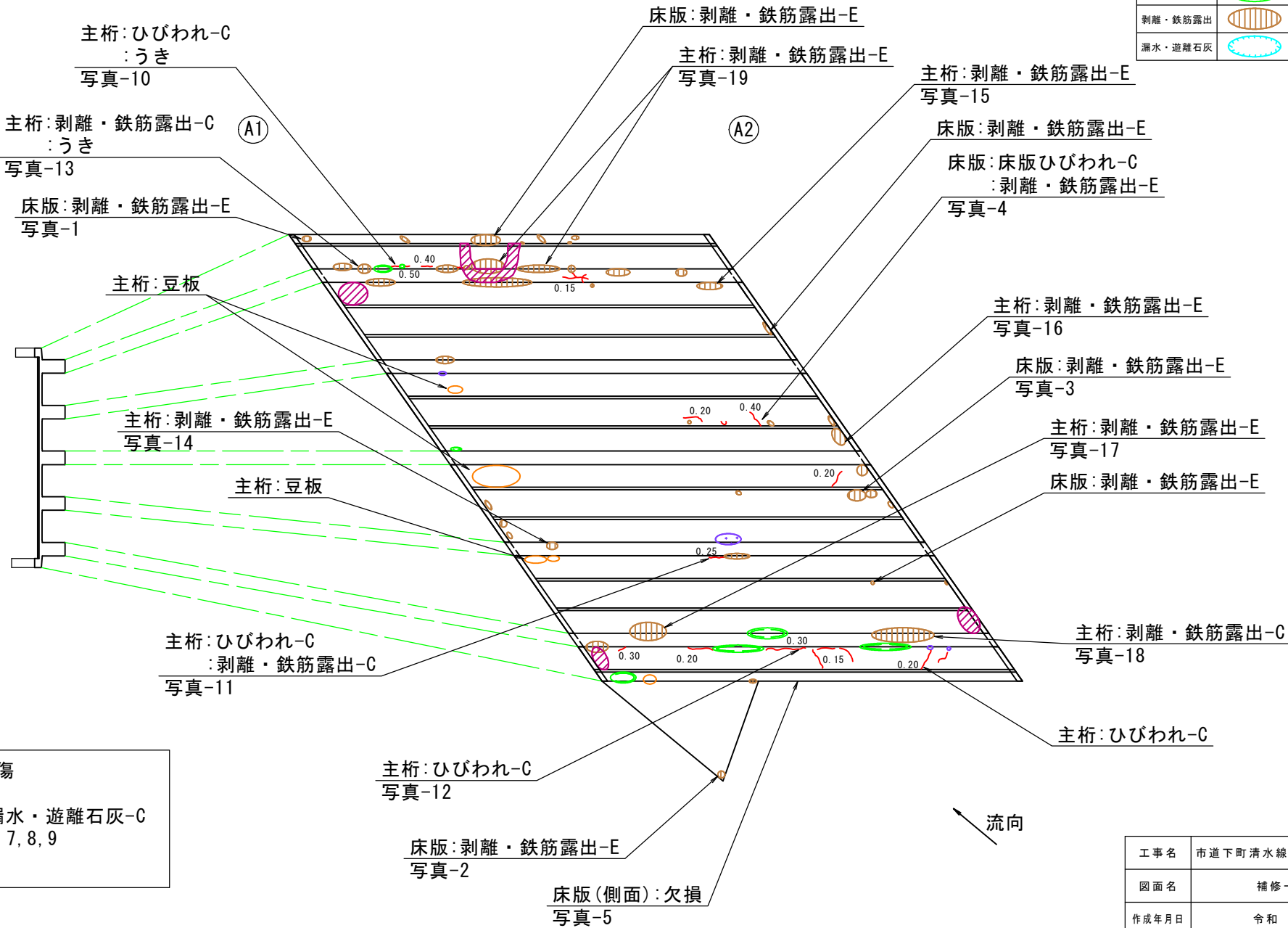
費 目	工 種	細 別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
直接工事費					供用月数を3か月としております			
	足場工(中段足場)	1.0m2あたり	TYPE B					
		足場工費 = {S×X + (N×k1×α ₁ ×α ₂)×y}×A		m ²	1.0			
		S : 損料係数						
		X : 足場供用月数						
		N : 設置撤去歩掛						
		y : 橋梁特殊工単価						
		k1 : 環境による補正						
		α ₁ , α ₂ : その他補正						
		A : 面積 (m2)						
	合計					1.0m2あたり		
	足場工(中段足場)			m2	1.0			

[illegible]



上部工：下面
見下げ図

損 傷 の 種 類			
損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		腐 食	
う き		漏水・滞水	
剥離・鉄筋露出		変形・欠損	
漏水・遊離石灰		そ の 他	



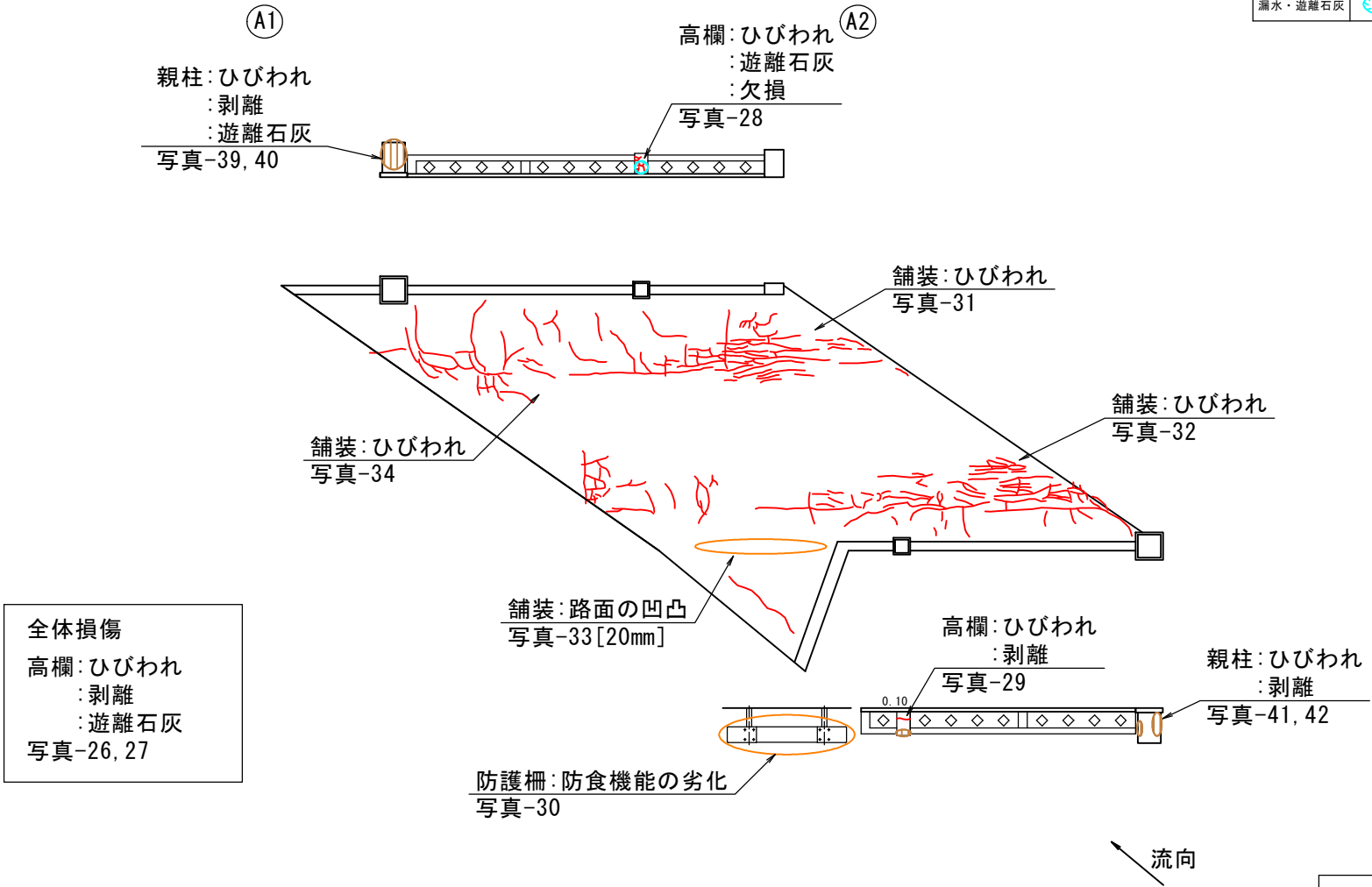
四ヶ村用水37号橋

工事名	市道下町清水線四ヶ村用水37号橋補修工事		
図面名	補修一般図（上部工）		
作成年月日	令和 4 年 5 月		
縮尺		図面番号	1 / 4
会社名			
事業者名	小 矢 部 市		

上部工:橋面

損 傷 の 種 類

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		腐 食	
う き		漏水・滞水	
剥離・鉄筋露出		変形・欠損	
漏水・遊離石灰		そ の 他	



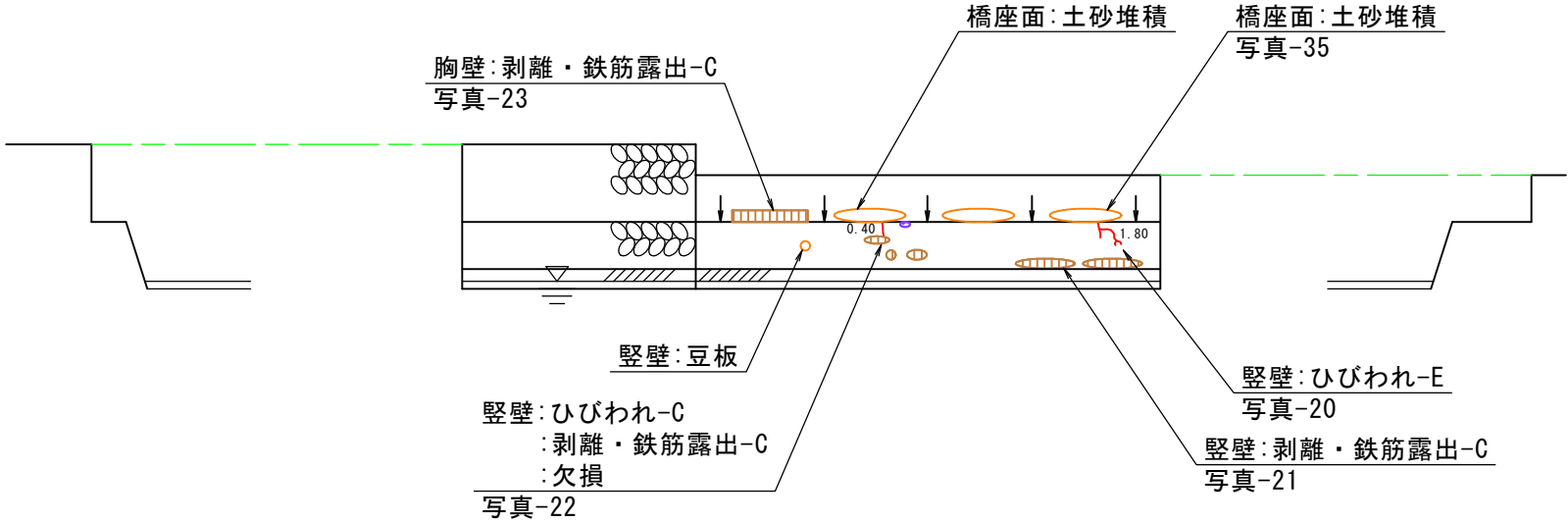
四ヶ村用水37号橋

工事名	市道下町清水線四ヶ村用水37号橋補修工事		
図面名	補修一般図(上部工)		
作成年月日	令和 4 年 5 月		
縮尺		図面番号	2 / 4
会社名			
事業者名	小 矢 部 市		

下部工:A1

損 傷 の 種 類

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		腐 食	
う き		漏水・滞水	
剥離・鉄筋露出		変形・欠損	
漏水・遊離石灰		そ の 他	

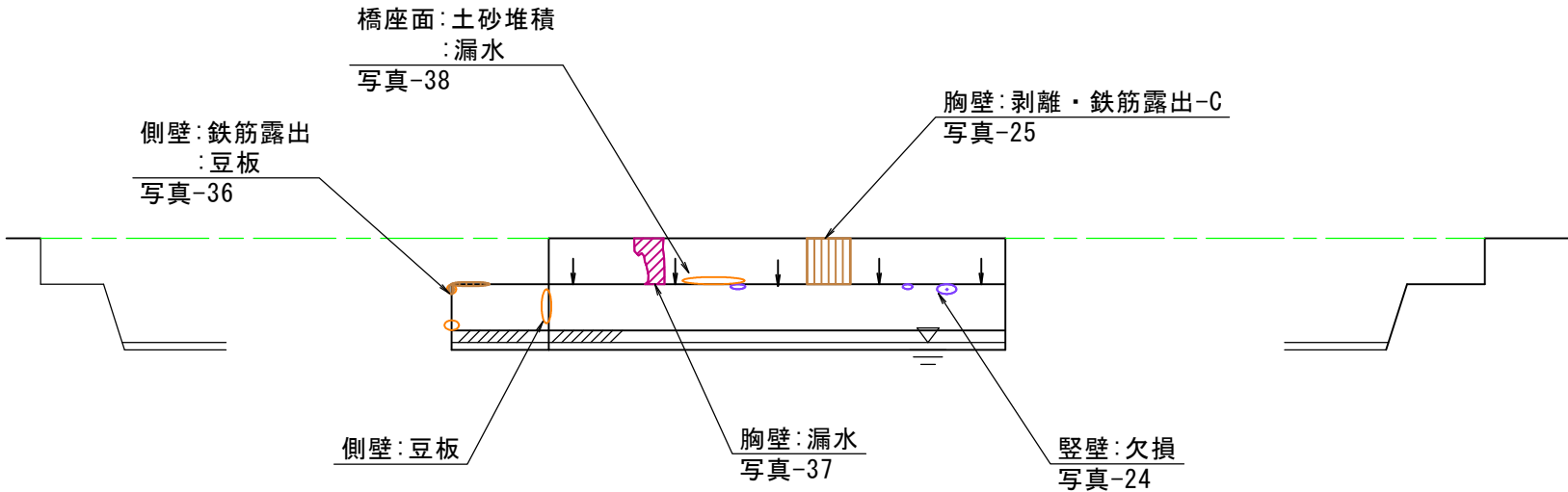


四ヶ村用水37号橋

工事名	市道下町清水線四ヶ村用水37号橋補修工事		
図面名	補修一般図（下部工）		
作成年月日	令和 4 年 5 月		
縮尺		図面番号	3 / 4
会社名			
事業者名	小 矢 部 市		

損 傷 の 種 類

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		腐 食	
う き		漏水・滞水	
剝離・鉄筋露出		変形・欠損	
漏水・遊離石灰		そ の 他	



工事名	市道下町清水線四ヶ村用水37号橋補修工事		
図面名	補修一般図（下部工）		
作成年月日	令和 4 年 5 月		
縮尺		図面番号	4 / 4
会社名			
事業者名	小 矢 部 市		

橋 梁 台 帳

橋梁コード	010119034	事務所	小矢部市
カナ名称	シカムラヨウスイサンジュウナナゴウキョウ	路線名称	下町清水線
橋梁名称	四ヶ村用水 3 7 号橋	所在地	清水
橋梁種別	その他	径間数	1
橋長	11.50m	下部工基数	2
最大支間長		総幅員	6.00m
交通量		大型車交通量	
適用示方書		設計活荷重	
塩害対策区分	700mをこえる	架設年次	昭和10年
緊急輸送路		2 5 t 指定道路	
耐震対策			

備考

1:A1側より



2:A2側より



3:上流側より



4:下流側より



上部工情報

[illegible]

下部工情報

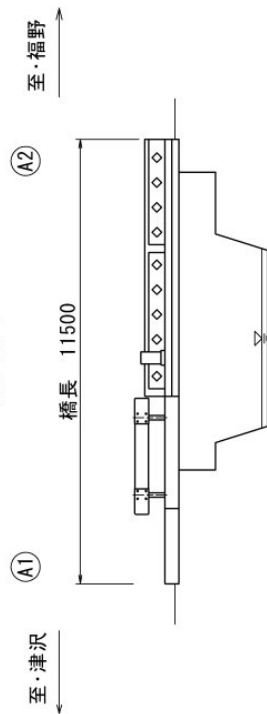
[illegible]

橋梁一般図

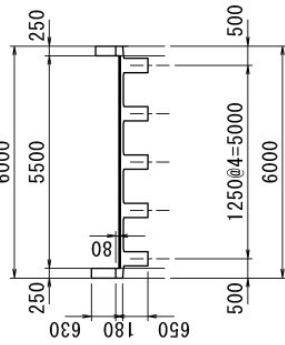
橋梁コード	010119034	事務所	小矢部市
カナ名称	シカムラヨウスイサンジュウナナゴウキ	路線名称	下町清水線
橋梁名称	四ヶ村用水3 7 号橋	所在地	清水
一般図番号	1		

四ヶ村用水37号橋一般図

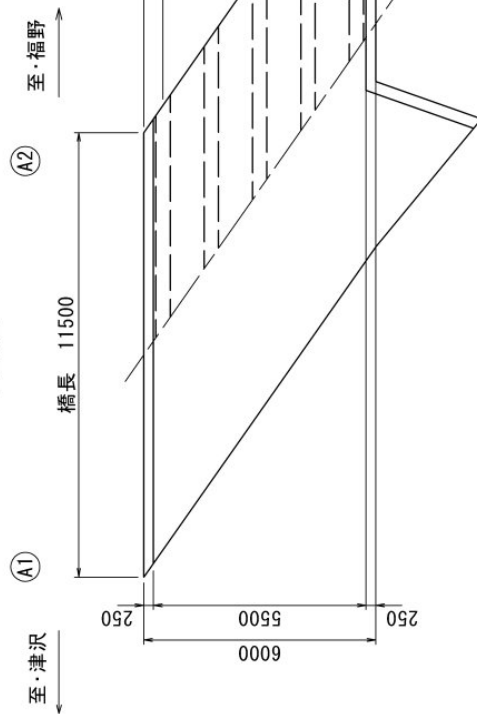
側面圖



断面図



平面图



流向

橋梁点検調査票（上部工）

橋梁コード	010119034	事務所	小矢部市
カナ名称	シカムラヨウスイサンジュウナナゴウキョウ		
橋梁名称	四ヶ村用水3 7号橋		
路線名称	下町清水線		
所在地	清水		

点検日	2019/09/25
点検種別	定期点検（レベル2）
径間番号	1:BR1

工種	部材	材料	損傷種類	状態			ひろがり		写真番号								
上部工	床版	☐ 鋼	☐ 01:腐食	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (左岸 / 基点側) (右岸 / 終点)											A		
							C										
	E																
	☒ コンクリート	☒ 11:床版ひびわれ	<table border="1"><tr><td>A</td><td>A</td><td>C</td><td>A</td></tr><tr><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td></tr></table> (左岸 / 基点側) (右岸 / 終点)			A	A	C	A	A	A	A	A	A	80		
						A	A	C	A								
						A	A	A	A								
						C	20										
		E	0														
☒ 07:剥離・鉄筋露出		<table border="1"><tr><td>E</td><td>E</td><td>E</td><td>E</td></tr><tr><td>C</td><td>E</td><td>C</td><td>E</td></tr></table> (左岸 / 基点側) (右岸 / 終点)			E	E	E	E	C	E	C	E	A	0	1,2,3,4,5		
					E	E	E	E									
	C				E	C	E										
	C				25												
E	75																
☒ 08:漏水・遊離石灰	<table border="1"><tr><td>C</td><td>C</td><td>C</td><td>C</td></tr><tr><td>C</td><td>C</td><td>C</td><td>C</td></tr></table> (左岸 / 基点側) (右岸 / 終点)			C	C	C	C	C	C	C	C	A	0	6,7,8,9			
				C	C	C	C										
				C	C	C	C										
				C	100												
E	0																
床版以外 (主構等)	☐ 鋼	☐ 01:腐食	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (左岸 / 基点側) (右岸 / 終点)											A			
						C											
	E																
	☐ 02:亀裂	☐ 損傷なし	☐ 塗膜われ、 3mm未満少数	☐ 線状亀裂あり	A												
					C												
					E												
		☐ 04:破断	☐ 損傷なし	—	☐ 破断している	A											
						E											
☒ コンクリート	☒ 06:ひびわれ	<table border="1"><tr><td>A</td><td>C</td><td>C</td><td>A</td></tr><tr><td>A</td><td>C</td><td>C</td><td>A</td></tr></table> (左岸 / 基点側) (右岸 / 終点)			A	C	C	A	A	C	C	A	A	20	10,11,12		
					A	C	C	A									
					A	C	C	A									
					C	80											
	E	0															
	☒ 07:剥離・鉄筋露出	<table border="1"><tr><td>C</td><td>E</td><td>E</td><td>A</td></tr><tr><td>A</td><td>E</td><td>C</td><td>A</td></tr></table> (左岸 / 基点側) (右岸 / 終点)			C	E	E	A	A	E	C	A	A	15	13,14,15,16, 17,18,19		
					C	E	E	A									
A					E	C	A										
C					25												
E	60																
☒ 08:漏水・遊離石灰	<table border="1"><tr><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td></tr><tr><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td></tr></table> (左岸 / 基点側) (右岸 / 終点)			A	A	A	A	A	A	A	A	A	100				
				A	A	A	A										
				A	A	A	A										
				C	0												
E	0																

橋梁点検調査票（下部工）

橋梁コード	010119034	事務所	小矢部市
カナ名称	シカムラヨウスイサンジュウナナゴウキョウ		
橋梁名称	四ヶ村用水3 7号橋		
路線名称	下町清水線		
所在地	清水		

点検日	2019/09/25
点検種別	定期点検（レベル2）
下部工番号	1:A1

工種	部材	材料	損傷種類	状態	ひろがり	写真番号
下部工	躯体	□ 鋼	□ 01:腐食	□ 橋台 □ 橋脚		
					A	
					C	
					E	
		▢ コンクリート	▢ 06:ひびわれ	▢ 橋台 □ 橋脚 A A A A A C E A		20
					A	60
					C	20
					E	20
			▢ 07:剥離・鉄筋露出	▢ 橋台 □ 橋脚 A C A A A C C A		21,22,23
					A	40
					C	60
					E	0
			▢ 08:漏水・遊離石灰	▢ 橋台 □ 橋脚 A A A A A A A A		
					A	100
					C	0
					E	0

橋梁点検調査票（下部工）

橋梁コード	010119034	事務所	小矢部市
カナ名称	シカムラヨウスイサンジュウナナゴウキョウ		
橋梁名称	四ヶ村用水3 7号橋		
路線名称	下町清水線		
所在地	清水		

点検日	2019/09/25
点検種別	定期点検（レベル2）
下部工番号	2:A2

工種	部材	材料	損傷種類	状態	ひろがり	写真番号
下部工	躯体	□ 鋼	□ 01:腐食	□ 橋台 □ 橋脚		
					A	
					C	
					E	
		▢ コンクリート	▢ 06:ひびわれ	▢ 橋台 □ 橋脚 A A A A A A A A	A	100
					C	0
					E	0
			▢ 07:剥離・鉄筋露出	▢ 橋台 □ 橋脚 A A C A A A A A	A	80
					C	20
					E	0
			▢ 08:漏水・遊離石灰	▢ 橋台 □ 橋脚 A A A A A A A A	A	100
					C	0
					E	0

橋梁点検調査票（橋梁）

橋梁コード	010119034	事務所	小矢部市
カナ名称	シカムラヨウスイサンジュウナナゴウキョウ		
橋梁名称	四ヶ村用水37号橋		
路線名称	下町清水線		
所在地	清水		

点検日	2019/09/25
点検種別	定期点検（レベル2）

工種	部材	一般的状況	有無		写真番号
			有り	無し	
支承部	☐ 支承本体	激しく侵食している。部品が脱落している。ゴムが損傷・硬化・脱落している。	☐	☐	
	☐ 沓座・モルタル	土砂や水がたまっている。	☐	☐	
		モルタルがひびわれ、部分的に欠損している。	☐	☐	
路上	☒ 高欄、防護柵	車両の衝突などにより壊れている。	☒	☐	26,27,28,29,
		道路利用者の通行に危険と思われる箇所がある。	☐	☒	
路面	☐ 地覆	表面、水切り部のかぶりコンクリートの剥離、剥落。	☐	☐	
	☒ 舗装	穴やおおきなへこみひびわれがある。	☒	☐	31,32,33,34
		道路利用者の通行に危険と思われる箇所がある。	☐	☒	
	☐ 伸縮装置	段差がある。	☐	☐	
		壊れている。	☐	☐	
その他	☐ 排水装置	土砂や舗装のオーバーレイによって詰まっている。	☐	☐	
		排水装置が壊れて、排水が桁などにかかる。	☐	☐	

その他緊急を要する損傷など

写真番号	
------	--

特筆すべき項目、気がついた点など

写真番号	A1橋座面に土砂体積・不法投棄(写真番号35) A2側壁に鉄筋露出(写真番号36) A2胸壁に漏水(写真番号37) A2橋座面に土砂体積・漏水(写真番号38) 親柱にひびわれ・剥離・欠損・遊離石灰(写真番号39,40,41,42)
------	---

35,36,37,38,39,40,41,42

補修・補強の有無や現場状況（進入路や水高等）、点検作業のため梯子の要否など

レベル2点検損傷写真台帳

			点検日	2019/09/25
橋梁コード	010119034	事務所	小矢部市	
カナ名称	シカムラヨウスイサンジュウナナゴウキョウ	路線名称	下町清水線	
橋梁名称	四ヶ村用水37号橋	所在地	清水	

写真番号	1	径間下部番号	1:BR1	写真番号	2	径間下部番号	1:BR1
部材名	上部工：床版：コンクリート			部材名	上部工：床版：コンクリート		
損傷種類	07：剥離・鉄筋露出	損傷状態	E:75%	損傷種類	07：剥離・鉄筋露出	損傷状態	E:75%



写真番号	3	径間下部番号	1:BR1	写真番号	4	径間下部番号	1:BR1
部材名	上部工：床版：コンクリート			部材名	上部工：床版：コンクリート		
損傷種類	07：剥離・鉄筋露出	損傷状態	E:75%	損傷種類	07：剥離・鉄筋露出	損傷状態	E:75%



写真番号	5	径間下部番号	1:BR1	写真番号	6	径間下部番号	1:BR1
部材名	上部工：床版：コンクリート			部材名	上部工：床版：コンクリート		
損傷種類	07：剥離・鉄筋露出	損傷状態	E:75%	損傷種類	08：漏水・遊離石灰	損傷状態	C:100%



レベル2点検損傷写真台帳

			点検日	2019/09/25
橋梁コード	010119034	事務所	小矢部市	
カナ名称	シカムラヨウスイサンジュウナナゴウキョウ	路線名称	下町清水線	
橋梁名称	四ヶ村用水37号橋	所在地	清水	

写真番号	7	径間下部番号	1:BR1	写真番号	8	径間下部番号	1:BR1
部材名	上部工：床版：コンクリート			部材名	上部工：床版：コンクリート		
損傷種類	08：漏水・遊離石灰	損傷状態	C:100%	損傷種類	08：漏水・遊離石灰	損傷状態	C:100%
							
写真番号	9	径間下部番号	1:BR1	写真番号	10	径間下部番号	1:BR1
部材名	上部工：床版：コンクリート			部材名	上部工：主構：コンクリート		
損傷種類	08：漏水・遊離石灰	損傷状態	C:100%	損傷種類	06：ひびわれ	損傷状態	C:80%
							
写真番号	11	径間下部番号	1:BR1	写真番号	12	径間下部番号	1:BR1
部材名	上部工：主構：コンクリート			部材名	上部工：主構：コンクリート		
損傷種類	06：ひびわれ	損傷状態	C:80%	損傷種類	06：ひびわれ	損傷状態	C:80%
							

レベル2点検損傷写真台帳

			点検日	2019/09/25
橋梁コード	010119034	事務所	小矢部市	
カナ名称	シカムラヨウスイサンジュウナナゴウキョウ	路線名称	下町清水線	
橋梁名称	四ヶ村用水3 7号橋	所在地	清水	

写真番号	13	径間下部番号	1:BR1	写真番号	14	径間下部番号	1:BR1
部材名	上部工：主構：コンクリート			部材名	上部工：主構：コンクリート		
損傷種類	07：剥離・鉄筋露出	損傷状態	E:60%	損傷種類	07：剥離・鉄筋露出	損傷状態	E:60%
							

写真番号	15	径間下部番号	1:BR1	写真番号	16	径間下部番号	1:BR1
部材名	上部工：主構：コンクリート			部材名	上部工：主構：コンクリート		
損傷種類	07：剥離・鉄筋露出	損傷状態	E:60%	損傷種類	07：剥離・鉄筋露出	損傷状態	E:60%
							

写真番号	17	径間下部番号	1:BR1	写真番号	18	径間下部番号	1:BR1
部材名	上部工：主構：コンクリート			部材名	上部工：主構：コンクリート		
損傷種類	07：剥離・鉄筋露出	損傷状態	E:60%	損傷種類	07：剥離・鉄筋露出	損傷状態	E:60%
							

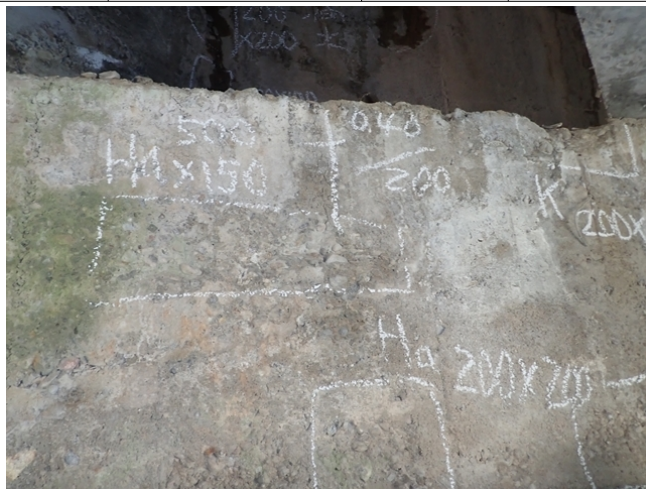
レベル2点検損傷写真台帳

			点検日	2019/09/25
橋梁コード	010119034	事務所	小矢部市	
カナ名称	シカムラヨウスイサンジュウナナゴウキョウ	路線名称	下町清水線	
橋梁名称	四ヶ村用水37号橋	所在地	清水	

写真番号	19	径間下部番号	1:BR1	写真番号	20	径間下部番号	1:A1
部材名	上部工：主構：コンクリート			部材名	下部工：躯体：コンクリート		
損傷種類	07：剥離・鉄筋露出	損傷状態	E:60%	損傷種類	06：ひびわれ	損傷状態	E:20%



写真番号	21	径間下部番号	1:A1	写真番号	22	径間下部番号	1:A1
部材名	下部工：躯体：コンクリート			部材名	下部工：躯体：コンクリート		
損傷種類	07：剥離・鉄筋露出	損傷状態	C:60%	損傷種類	07：剥離・鉄筋露出	損傷状態	C:60%



写真番号	23	径間下部番号	1:A1	写真番号	24	径間下部番号	2:A2
部材名	下部工：躯体：コンクリート			部材名	下部工：躯体：コンクリート		
損傷種類	07：剥離・鉄筋露出	損傷状態	C:60%	損傷種類	07：剥離・鉄筋露出	損傷状態	C:20%



レベル2点検損傷写真台帳

			点検日	2019/09/25
橋梁コード	010119034	事務所	小矢部市	
カナ名称	シカムラヨウスイサンジュウナナゴウキョウ	路線名称	下町清水線	
橋梁名称	四ヶ村用水3 7号橋	所在地	清水	

写真番号	25	径間下部番号	2:A2	写真番号		径間下部番号	
部材名	下部工：躯体：コンクリート			部材名			
損傷種類	07：剥離・鉄筋露出	損傷状態	C:20%	損傷種類		損傷状態	
							
写真番号		径間下部番号		写真番号		径間下部番号	
部材名				部材名			
損傷種類		損傷状態		損傷種類		損傷状態	
写真番号		径間下部番号		写真番号		径間下部番号	
部材名				部材名			
損傷種類		損傷状態		損傷種類		損傷状態	

レベル2点検損傷写真台帳

			点検日	2019/09/25
橋梁コード	010119034	事務所	小矢部市	
カナ名称	シカムラヨウスイサンジュウナナゴウキョウ	路線名称	下町清水線	
橋梁名称	四ヶ村用水37号橋	所在地	清水	

写真番号	26	径間下部番号	-	写真番号	27	径間下部番号	-
部材名	路上：高欄、防護柵			部材名	路上：高欄、防護柵		
損傷種類	車両衝突等の損傷	損傷状態	有り	損傷種類	車両衝突等の損傷	損傷状態	有り



写真番号	28	径間下部番号	-	写真番号	29	径間下部番号	-
部材名	路上：高欄、防護柵			部材名	路上：高欄、防護柵		
損傷種類	車両衝突等の損傷	損傷状態	有り	損傷種類	車両衝突等の損傷	損傷状態	有り



写真番号	30	径間下部番号	-	写真番号	31	径間下部番号	-
部材名	路上：高欄、防護柵			部材名	路面：舗装		
損傷種類	車両衝突等の損傷	損傷状態	有り	損傷種類	穴、へこみ、ひびわれ	損傷状態	有り



レベル2点検損傷写真台帳

			点検日	2019/09/25
橋梁コード	010119034	事務所	小矢部市	
カナ名称	シカムラヨウスイサンジュウナナゴウキョウ	路線名称	下町清水線	
橋梁名称	四ヶ村用水37号橋	所在地	清水	

写真番号	32	径間下部番号	-	写真番号	33	径間下部番号	-
部材名	路面：舗装			部材名	路面：舗装		
損傷種類	穴、へこみ、ひびわれ	損傷状態	有り	損傷種類	穴、へこみ、ひびわれ	損傷状態	有り



写真番号	34	径間下部番号	-	写真番号		径間下部番号	
部材名	路面：舗装			部材名			
損傷種類	穴、へこみ、ひびわれ	損傷状態	有り	損傷種類		損傷状態	



写真番号		径間下部番号		写真番号		径間下部番号	
部材名				部材名			
損傷種類		損傷状態		損傷種類		損傷状態	



レベル2点検損傷写真台帳

			点検日	2019/09/25
橋梁コード	010119034	事務所	小矢部市	
カナ名称	シカムラヨウスイサンジュウナナゴウキョウ	路線名称	下町清水線	
橋梁名称	四ヶ村用水37号橋	所在地	清水	

写真番号	35	径間下部番号	-	写真番号	36	径間下部番号	-
部材名	-			部材名	-		
損傷種類	-	損傷状態	特記事項	損傷種類	-	損傷状態	特記事項



写真番号	37	径間下部番号	-	写真番号	38	径間下部番号	-
部材名	-			部材名	-		
損傷種類	-	損傷状態	特記事項	損傷種類	-	損傷状態	特記事項



写真番号	39	径間下部番号	-	写真番号	40	径間下部番号	-
部材名	-			部材名	-		
損傷種類	-	損傷状態	特記事項	損傷種類	-	損傷状態	特記事項



レベル2点検損傷写真台帳

			点検日	2019/09/25
橋梁コード	010119034	事務所	小矢部市	
カナ名称	シカムラヨウスイサンジュウナナゴウキョウ	路線名称	下町清水線	
橋梁名称	四ヶ村用水37号橋	所在地	清水	

写真番号	41	径間下部番号	-	写真番号	42	径間下部番号	-
部材名	-			部材名	-		
損傷種類	-	損傷状態	特記事項	損傷種類	-	損傷状態	特記事項

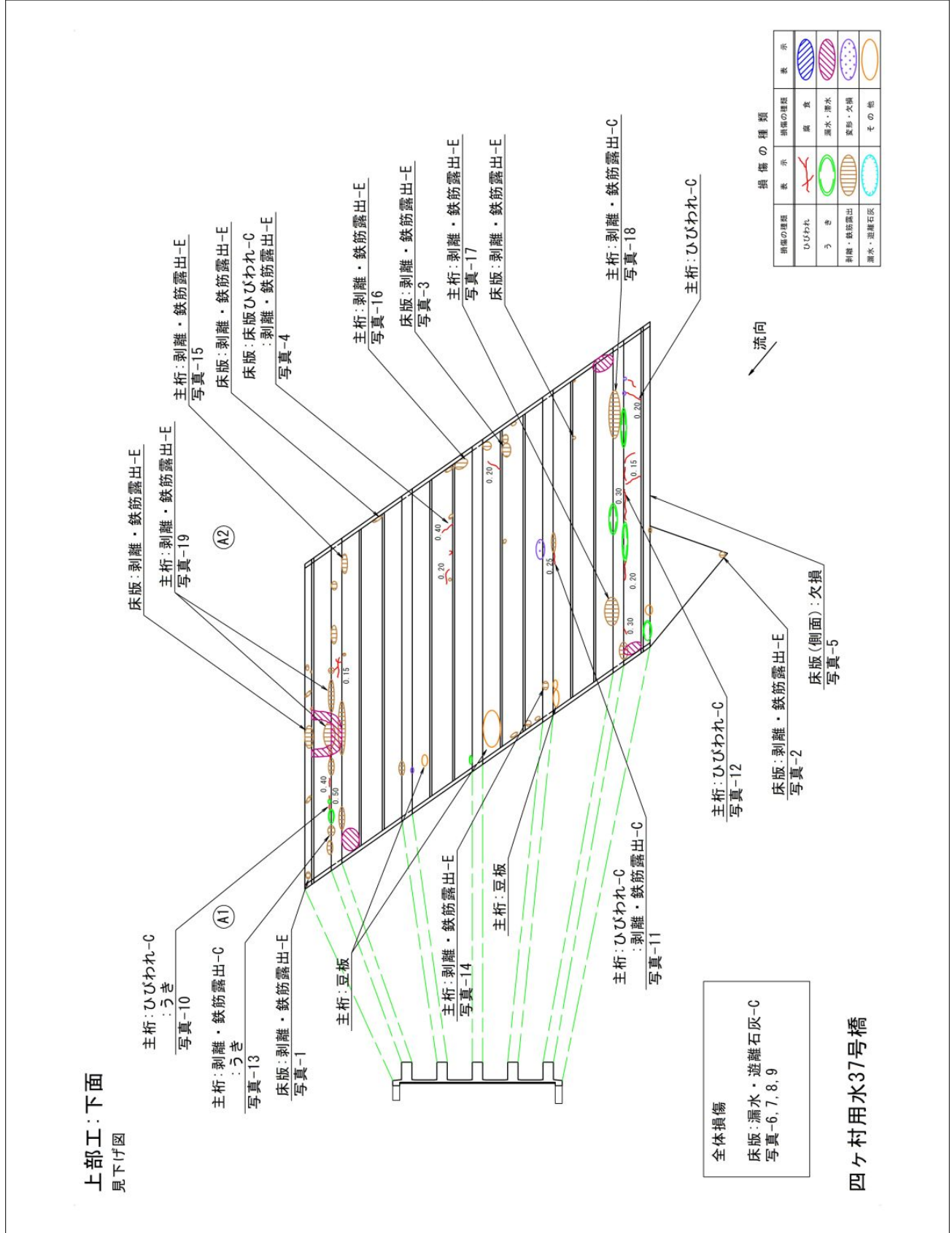


写真番号		径間下部番号		写真番号		径間下部番号	
部材名				部材名			
損傷種類		損傷状態		損傷種類		損傷状態	

写真番号		径間下部番号		写真番号		径間下部番号	
部材名				部材名			
損傷種類		損傷状態		損傷種類		損傷状態	

レベル2点検損傷図（上部工）

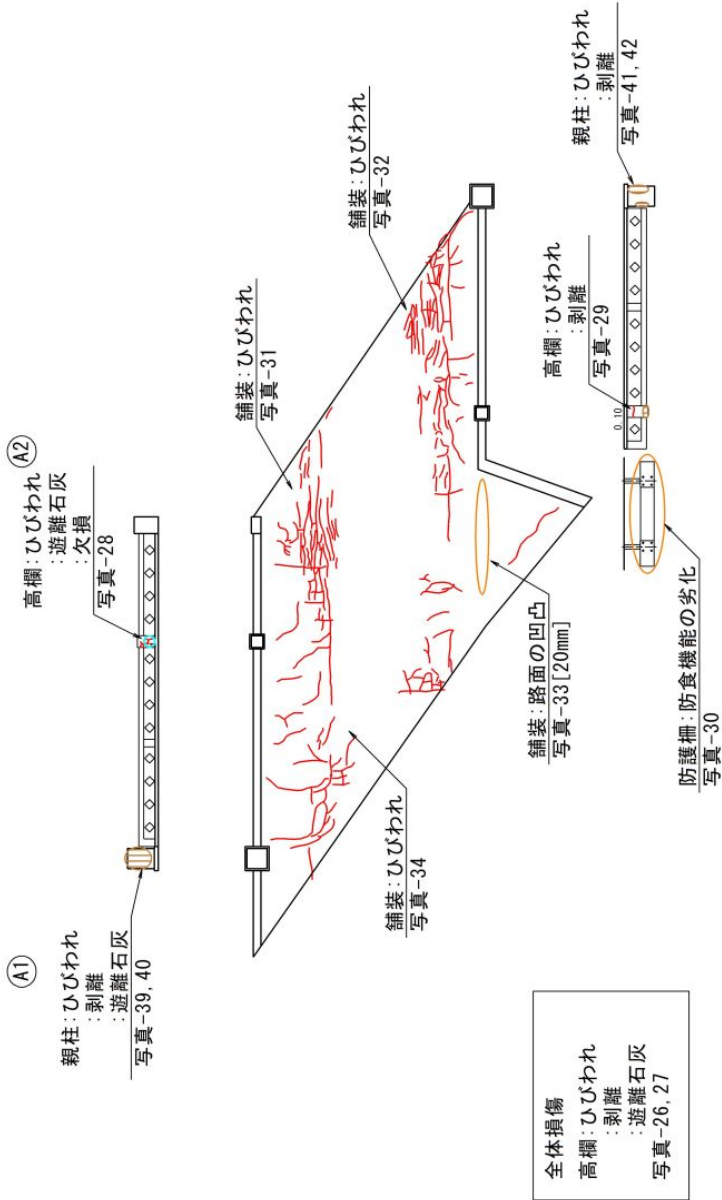
橋梁コード	010119034	事務所	小矢部市
カナ名称	シカムラヨウスイサンジュウナナゴウキ	路線名称	下町清水線
橋梁名称	四ヶ村用水37号橋	所在地	清水
径間／下部番号	1:BR1 / —	損傷図番号	1



レベル2点検損傷図（上部工）

		点検日	2019/09/25
橋梁コード	010119034	事務所	小矢部市
カナ名称	シカムラヨウスイサンジュウナナゴウキ	路線名称	下町清水線
橋梁名称	四ヶ村用水37号橋	所在地	清水
径間 / 下部番号	1:BR1 / —	損傷図番号	2

上部工：橋面

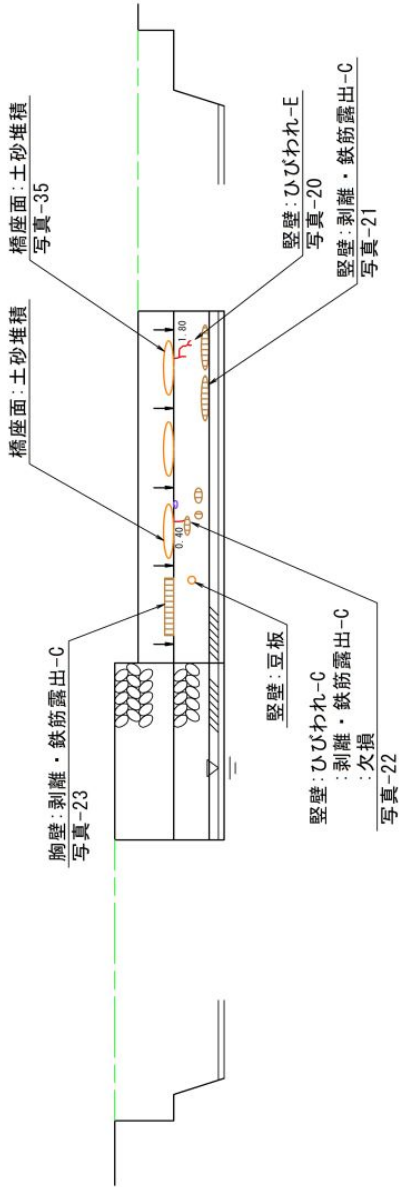


四ヶ村用水37号橋

レベル2点検損傷図（下部工）

		点検日	2019/09/25
橋梁コード	010119034	事務所	小矢部市
カナ名称	シカムラヨウスイサンジュウナナゴウキ	路線名称	下町清水線
橋梁名称	四ヶ村用水3 7号橋	所在地	清水
径間 / 下部番号	— / 1:A1	損傷図番号	3

下部工:A1



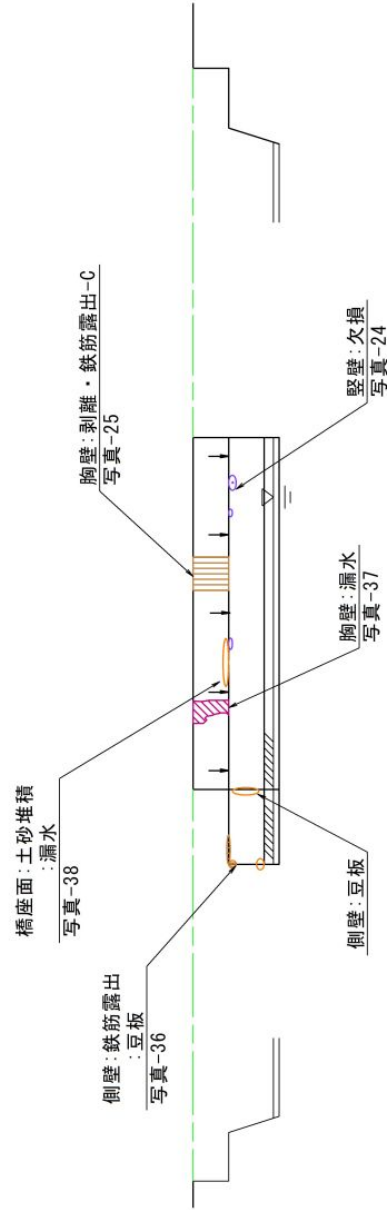
損傷の種類		損傷の種類	
表示	説明	表示	説明
	ひびわれ		腐蝕
	うき		湧水・湧水
	剥離・鉄筋露出		露砂・欠損
	湧水・湧水石反		その他

四ヶ村用水37号橋

レベル2点検損傷図（下部工）

		点検日	2019/09/25
橋梁コード	010119034	事務所	小矢部市
カナ名称	シカムラヨウスイサンジュウナナゴウキ	路線名称	下町清水線
橋梁名称	四ヶ村用水3 7号橋	所在地	清水
径間 / 下部番号	— / 2:A2	損傷図番号	4

下部工:A2



損傷の種類		表示	損傷の種類	表示
損傷の種類	ひびわれ	表示	損傷の種類	表示
うき	表示	表示	表示	表示
剥離・鉄筋露出	表示	表示	表示	表示
漏水・湧き出し	表示	表示	表示	表示

四ヶ村用水37号橋

橋梁診断書（ 1 / 2 ）

1. 橋梁緒元

橋梁コード	010119034	事務所	小矢部市
カナ名称	シカムラヨウスイサンジュウナナゴウキョウ	路線名称	下町清水線
橋梁名称	四ヶ村用水37号橋	所在地	清水

2. 点検・調査履歴

実施年月日	点検・調査種別	実施年月日	補修・補強履歴
2019/09/25	定期点検（レベル2）		
2015/12/19	定期点検（レベル2）		

3. 補修・補強履歴

4. 点検及び診断者

点検種別	定期点検（レベル2）	点検会社	雄川コンサルタンツ	診断会社	株式会社雄川コンサルタンツ
		点検者	浅野 亘一	診断者	雄川 勝司

5. 緊急的な対策が必要な損傷

径間下部工	損傷部位	損傷種類	所見

6. 緊急対策費

対策項目	対策内容	単位	数量	金額（百万円）	備考
合 計					

7. アルカリ骨材反応（ASR）、塩害の疑い

損傷種類	部材	径間下部工（代表）	損傷状況
ASR	☐ 上部工		
	☐ 下部工		
塩害	☐ 上部工		
	☐ 下部工		

橋梁診断書（ 2 / 2 ）

健全度（単位：点）

工種	部材	径間番号										最小値
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
上部工	床版	74.63										74.63
	主構	38.23										38.23
	床版・主構以外（主要な部材）	40.50										40.50
	上部工 全体	6.03										6.03
下部工	躯体	70.00	94.30									70.00
	基礎	100.00	100.00									100.00
	下部工 全体	79.90	96.18									79.90
支承部	支承本体	100.00	100.00									100.00
	沓座	100.00	100.00									100.00
	支承部 全体	100.00	100.00									100.00
径間 全体		0.00	3.73									0.00
橋梁 全体		0.00										

網掛けは末点検の部材です。

参考補修費（単位：百万円）

工種	部材	径間番号										合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
上部工	床版	0.00										0.00
	主構	0.00										0.00
	床版・主構以外（主要な部材）	0.00										0.00
	上部工 全体	0.00										0.00
下部工	躯体	0.00	0.00									0.00
	基礎	0.00	0.00									0.00
	下部工 全体	0.00	0.00									0.00
支承部	支承本体	0.00	0.00									0.00
	沓座	0.00	0.00									0.00
	支承部 全体	0.00	0.00									0.00
径間 全体		0.00	0.00									0.00
橋梁 全体		0.00										

総合点検結果

本橋は1935年に架設された単純RC T桁橋であり、84年が経過している。
以下に述べる劣化・損傷が見られる。

- 1)主桁について、経年劣化と推察する剥離・鉄筋露出および、ひびわれが認められる。
早急な補修対策が必要。
- 2)床版について、上下流張出し床版に剥離・鉄筋露出が顕著に見られる。
補修検討が望ましい。
- 3)下部工について、A1橋台に剥離・鉄筋露出、ひびわれが見られる。
補修検討が望ましい。
- 4)支承について、構造的に支承は確認できない。経過観察とする。
- 5)高欄について、コンクリート高欄は経年劣化より剥離・鉄筋露出および、ひびわれが顕著である。補修検討が望ましい。
- 6)地覆について、剥離、ひびわれが局所に見られる。補修検討が望ましい。
- 7)伸縮装置について、設置されていない。
ダミージョイントと推定される。損傷は見られない。経過観察が望ましい。
- 8)路面について、ひびわれ、凹凸が見られる。維持工事に補修検討が望ましい。